

# 県有施設の見直し一覧(12月19日(水)実施分)

資料8

No	所管部局名	施設名	見直しの考え方	見直しの方向性	平成29年12月以降の調整経過、課題、今後の予定など
11	防災対策部	備蓄倉庫 <直営>	当該施設は、防災関係資機材を保管する目的で平成2年に建設され、現在も資機材を保管している。現在の場所でなければならない理由がないこと、資機材の移動先も確保可能であることなどから、廃止(売却)の方向で検討を進める。	廃止(売却)	<p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.7まで 保管している資機材の要・不要の分別</li> <li>・H30.8 必要な資機材の移動</li> <li>・H30.11 第二次みえ県有財産利活用方針に基づく地元自治体への購入意向確認(意向なし)</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.12~H31.3 売却に向けて、具体的手法等を検討</li> <li>・H31.4~H31.8 登記・測量業務、不動産鑑定等を実施</li> <li>・H32.3 売却</li> </ul>
12	防災対策部	衛星第2統制局舎 <直営>	当該施設は、本庁舎が地震等により無線統制局としての機能を果たせなくなる場合に備えて平成9年に建設されたが、現在は倉庫として利用している。本庁舎の免震化により無線統制局の機能は確保されていることなどから、廃止(解体)の方向で検討を進める。	廃止(解体)	<p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部において、当該施設敷地とその背後地を併せた利活用を検討中</li> <li>・H30.7まで 保管している無線設備の予備品等の要・不要の分別、設備の廃止に必要な手続き等の確認</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保管している無線設備の予備品等の保管場所確保が必要</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要物品の移動先の検討</li> <li>・移動先の決定後、必要物品を移動</li> <li>・総務部の利活用方針等をふまえ、必要な対応を実施</li> </ul>
13	県土整備部	北勢中央公園 <指定管理>	当該施設は、四日市市・いなべ市・菰野町にまたがる都市公園であり、平成5年から順次供用を開始している。現在、整備途中であるが、利用状況からみて施設の規模や機能が現状で概ね足りていると考えられること、完成に向けては多額の事業費を投入する必要があることなどから、整備計画の見直し及び買収済み公園用地の利活用について、関係市町と協議を進める。	整備計画の見直し及び未利用地の利活用検討	<p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「見直しの方向性」を踏まえ、次のとおり整理</li> <li>・野球場サブグラウンド(1面)やテニスコートの増設(4面)、新たなエリアの整備を休止すること</li> <li>・現在整備中のエリアはこのまま整備を進め完成させること</li> <li>・用地買収については買取請求に応じ買収を完了させること</li> <li>・未利用地については、当該公園の設置目的の一つでもある「良好な自然環境の保全を図る」ため、修景施設(主に樹林地)として利用していくこと</li> <li>○H29.11 上記方針について関係市町(四日市市、いなべ市、菰野町)に説明</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○上記方針のとおり進め、未利用地の利活用については、検討を継続</li> </ul>

No	所管部局名	施設名	見直しの考え方	見直しの方向性	平成29年12月以降の調整経過、課題、今後の予定など
14	県土整備部	熊野灘臨海公園 〈指定管理〉	<p>当該施設は、広域的なレクリエーション需要を充足することを目的とした都市公園であり、昭和53年から順次供用を開始している。</p> <p>施設の利用状況に変化がみられることなどから、利用者のニーズや地域の集客施設への影響なども勘案し、施設の維持修繕計画の見直しについて関係市町等と協議を進める。</p>	用途変更(維持修繕計画の見直し)	<p>【経過】</p> <p>○「見直しの方向性」を踏まえ、次のとおり整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進む当該公園の各種施設の今後のあり方(継続・廃止・用途変更など)を県、町、施設管理者等と検討に着手していくこと</li> <li>・上記あり方についての検討結果を踏まえ、各公園施設のより具体的な維持修繕の方針を取りまとめること</li> </ul> <p>○H29.11 上記方針について関係町等(紀北町、施設管理者)に説明</p> <p>○H30.6 第1回あり方検討会を実施</p> <p>○H30.10 第2回あり方検討会を実施</p> <p>【課題】</p> <p>○公園施設の廃止、用途変更を結論する際には、特に丁寧に関係者と協議し合意形成が必要</p> <p>【今後の予定】</p> <p>○H30は、老朽化が進むプール・コテージ・テニスコート・体育館など各公園施設について、町、施設管理者を含む検討会議(H30.6から計4回予定)により、利用者のニーズや地域への影響なども勘案し、そのあり方を検討</p> <p>○H31は、上記あり方の検討結果を踏まえた、より具体的な維持修繕計画を作成</p>
15	県土整備部	【追加】 鈴鹿青少年の森 〈指定管理〉	<p>当該施設は、次世代を担う青少年が自然の中でスポーツや野外活動に親しみ、心身を鍛錬し豊かな人間性を養う場とするため、明治100年を記念して整備に着手し、昭和47年までに整備をすべて完了し、以来、全面供用している。</p> <p>平成20年度から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用し、利用者数も順調に増加しているところであるが、鈴鹿サーキットや交通量が多い道路に隣接するなど、好立地にあること、隣接する県有施設(鈴鹿青少年センター)においても、施設見直しの検討が進められていることなどから、鈴鹿青少年センターを所管する教育委員会と連携し、県民サービスの向上が図れるよう取り組んでいく。</p>	教育委員会と連携し、民間による有効活用も視野に入れながら、平成31年度末までに方向性を定める。	

No	所管部局名	施設名	見直しの考え方	見直しの方向性	平成29年12月以降の調整経過、課題、今後の予定など
16	総務部	旧三重県鳥居会館 <直営>	当該施設は県立看護短期大学として昭和34年に建設されたものである。平成9年に用途廃止をした後は倉庫・書庫として活用していたが平成26年度限りで老朽化に伴い使用を禁止している。 建物の解体撤去に多額の費用がかかることなどから、民間活力を生かした利活用スキームも含めて、廃止(貸付又は用途変更)の方向で検討を進める。	廃止(貸付又は用途変更)	<p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.4～5 部内で課題を整理し、利活用案を策定</li> <li>・H30.6～7 民間事業者から利活用案に対する意見を聴取</li> <li>・H30.7～ 民間事業者の意見を踏まえ、部内で利活用案の再検討</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物が残置しており更地化には多額の解体費が必要</li> <li>・立地等の諸条件から、商業用等の民間による活用が望めない</li> <li>・利活用に当たっては、同一敷地内にある体育館(リサイクルセンター)の取扱と併せた検討が必要</li> <li>・将来見込まれる県庁周辺の再整備の際に、代替用地として必要となる可能性がある</li> <li>・公図混乱地のため、売却等の処分を行う際には、測量・分筆・登記等の整理が必要</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁周辺の限られた県有地として、将来の活用を見据えて土地は保有したまま利活用を図ることとする。管理に要する費用を最小限に抑えながら、現状維持を含めて実現可能な利活用方法を検討する。</li> </ul>
17	総務部	職員公舎 (浜島、尾鷲13号) <直営>	浜島は昭和59年、尾鷲13号は平成7年に職員公舎として建設された。 施設の老朽化や今後の利用見込みを踏まえると、地域内の公舎へ集約化を図ることが合理的であることから、集約化により廃止(売却)の方向で検討を進める。	廃止(売却)	<p>&lt;浜島住宅&gt;</p> <p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.3.31 入居者の転居完了</li> <li>・H30.5 用途廃止手続き</li> <li>・H30.7～9 敷地の所管換え手続き(農林水産部→総務部)</li> <li>・H30.9 志摩市へ取得要望照会(結果:希望なし)</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地の接道条件が悪く利活用に制約があることや立地条件から、民間ニーズは低いと見込まれる</li> <li>・建物(2棟)が残置しているため更地化には解体費が必要</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物(2棟)の解体を進めるとともに、接道条件を検討し、売却に向けた取組を進める。売却が難しいようであれば、隣接の県有地との一体利用について検討する。</li> </ul> <p>&lt;尾鷲13号&gt;</p> <p>【経過】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.3.31 入居者の転居完了</li> <li>・H30.5 用途廃止手続き</li> <li>・H30.6～尾鷲市と県有地内私道の取扱いに関する協議</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県有地内私道が存在しており、処分に当たっては整理が必要</li> </ul> <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.12～(継続)尾鷲市と県有地内私道の取扱いに関する協議</li> <li>・県有地内私道の取扱いの整理後、現況有姿(建物付き)での売却に向けた取組(立会・測量・分筆等)を進める</li> </ul>

No	所管部局名	施設名	見直しの考え方	見直しの方向性	平成29年12月以降の調整経過、課題、今後の予定など
18	地域連携部	(鈴鹿山麓リサーチパーク関係施設) 旧三重ソフトウェアセンター社屋 <四日市市管理>	当該施設は、(株)三重ソフトウェアセンターの社屋として平成5年に建設されたものであるが、平成20年に同社を解散した後は、企業等向けに事務所等の貸付を行っている。 施設の稼働率が低迷していること、施設の大規模改修の可能性があることから、今後の見直しの方向性を定める必要がある。	【継続検討】 平成31年度末までに方向性を定める。	<<鈴鹿山麓リサーチパーク全体>> 【経過】 ・部内で課題を整理し、対応策を検討 ・リサーチパーク連絡調整会議の開催 ・限定されている用途の拡大に向けて四日市市と協議 ・庁内情報共有会議の開催  【課題】 ・用途拡大の方向性及び関係者の合意 ・市における地元との調整  【今後の予定】 ・H30.12～ 四日市市と協議を継続 ・H31.3 リサーチパーク連絡調整会議 四日市市に拡大する用途の方向性を確認 ・H31.4～ 用途拡大に向けた事務手続き ・H32.2 見直しの方向性案を議会で説明
					<<旧三重ソフトウェアセンター社屋>> 【経過】 ・部内で課題を整理し、対応策を検討中 ・入居企業の状況についての情報共有 ・入居希望者の意向確認開始  【課題】 社屋が存在している鈴鹿山麓リサーチパーク全体のあり方についての議論を踏まえて、本施設見直しの方向性を定める検討が必要  【今後の予定】 ・H30.12～ 四日市市との協議を複数回実施 ・H32.2 見直しの方向性案を議会で説明
19	地域連携部	ゆめドームうえの <指定管理>	当該施設は、平成9年に建設された屋内体育施設である。 県有施設としては広域利用が前提となるが、一部の施設の利用者は伊賀市内の居住者が多くを占めていること、維持管理に多額の費用を要していること、今後、多額の改修費用が見込まれることから、一層の広域での利用促進と維持管理費用の削減も含め、今後の見直しの方向性を定める必要がある。	【継続検討】 平成31年度末までに方向性を定める。	【経過】 ・部内で利用実績や課題を整理し、対応策を検討中 ・利用実績等を踏まえ、見直しの方向性の検討に向けて、部内で論点を整理  【課題】 対応案の検討とそれぞれのメリット、デメリットの洗い出し、コスト比較  【今後の予定】 ・H30.12～H31.10 伊賀市との協議を実施 ・H32.2 見直しの方向性案を議会で説明

No	所管部局名	施設名	見直しの考え方	見直しの方向性	平成29年12月以降の調整経過、課題、今後の予定など
20	国体・全国障害者スポーツ大会局	三重交通G スポーツの杜 伊勢(体育館) <指定管理>	<p>当該施設は、三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場)内における体育館施設として、メインアリーナ(昭和39年)及びサブアリーナ(昭和47年)が建設された。</p> <p>ともに老朽化が進んでおり、今後、大規模な改修が必要となること、三重交通G スポーツの杜鈴鹿には県営体育館が、近隣には体育館機能を有した県営サンアリーナが存在することから、今後の県営体育館のあり方も含め、見直しの方向性を定める必要がある。</p>	<p>【継続検討】 平成33年度の三重とわか国体終了後に方向性を定める。</p>	<p>【経過】 ・部内で課題を整理し、対応策を検討 ・見直しの方向性の検討に向けて、部内で論点を整理</p> <p>【課題】 ・現状分析を行ったうえでスポーツ推進の拠点施設としてのあり方を整理</p> <p>【今後の予定】 ・H30.11～H33.12 課題の検討、地元市町との協議 ・H34.2 見直しの方向性案を議会で説明</p>
21	国体・全国障害者スポーツ大会局	三重県営松阪野球場 <指定管理>	<p>当該施設は、昭和50年に建設された。</p> <p>老朽化が進んでおり、今後、大規模な改修が必要となること、県内の主要な市営球場と比較して広域性がより高いとは認められないことなどから、今後の県営野球場のあり方も含め、見直しの方向性を定める必要がある。</p>	<p>【継続検討】 平成31年度末までに方向性を定める。</p>	<p>【経過】 ・部内で課題を整理し、対応策を検討 ・見直しの方向性の検討に向けて、部内で論点を整理 ・松阪市と協議</p> <p>【課題】 ・スポーツ推進の拠点施設としてのあり方を整理</p> <p>【今後の予定】 ・H30.11～H31.12 課題の検討、松阪市との協議 ・H32.2 見直しの方向性案を議会で説明</p>
22	雇用経済部	(鈴鹿山麓リサーチパーク関係施設) 鈴鹿山麓研究学園都市センター <直営>	<p>当該施設は、科学技術の振興及び県内産業の高度化を図る目的で平成10年に建設されたものであり、現在は企業向けに会議室等の貸出しを行っている。</p> <p>施設の稼働率が低迷していること、維持管理に多額の費用を要していること、大規模改修時期が差し迫っていることなどから、四日市市等関係機関と調整のうえ、休館の方向で検討を進める。</p> <p>なお、休館後は鈴鹿山麓リサーチパークの方向性を踏まえて、再度、見直しの方向性を定める必要がある。</p>	<p>平成30年度中に休館(リサーチパークの利活用の動向を踏まえて、平成31年度末までに再度方向性を検討)</p>	<p>【経過】 ・H29.12～ センター内入居業者(レストラン)へ休館の説明 ・H30.1 四日市市へ休館の説明 ・H30.3 地元自治会役員へ休館の説明 ・H30.3～ 四日市市と休館後の土地の賃借について協議 ・H30.10 センターの2階施設の貸館停止 ・H30.12～ センターの1階施設の貸館停止(全館停止)、休館対応準備(入居業者は引き続き、営業)</p> <p>【今後の予定】 ・H31.4～ 休館</p>